

実践事例様式 (2)

ひまわり学級	単 元 名	誕生日をお祝いしよう
(教科) 生活単元学習		

1. 単元名 「誕生日をお祝いしよう」

2. 単元の目標

(かしこい子)

- ・今までにしたお楽しみ会や誕生日会の経験を活かし、見通しをもって活動する。

(がんばる子)

- ・みんなが誕生日会を楽しむことができるように、誕生日カードやクッキングについて考えたり、工夫したりする。

(やさしい子)

- ・友だちや教師と関わったり、相手の気持ちを考えたりする中で、誕生会に向けて自分の思いや考えを伝え合いながら協力し活動する。

3. 学校図書館活用のポイント※目標との関連も踏まえて

- ・本を見て、自分の好きなお菓子を選んでみる。
- ・誕生日会で作りたいお菓子の作り方を、本を使って調べてみる。

4. 単元の評価規準

【A児】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活	・誕生日カード作り、クッキングでの自分の役割に関心をもっている。【1段階カ：役割】	・誕生日カード作り、クッキングで自分の役割が分かり、教師と一緒に参加しようとしている。【1段階カ：役割】	・絵カードや、ホワイトボード、教師や支援員の声かけを手がかりに、自分のすることが分かり進んで参加しようとしている。
国語	・本に注目し、いろいろなお菓子の本に興味をもっている。【1段階 (イ (エ))】	・レシピを作るときにひらがなをなぞって書いている。【2段階 (B書くことイ)】 ・伝えたいことを思い浮かべ、指さし、身振り、言葉などで表している。【1段階 (A聞くこと・話すことウ)】	・指さし、身振り、言葉など何らかの方法で友だちや教師、支援員に思いを伝えようとしている。
算数	・3までの数を捉えている。【1段階 (B数と計算ア)】	・レシピの分量と同じ量だけ数えながら(3までの数について)測っている。	・数量に気づき、進んでクッキングの材料を量ろうとしている。
図画工作	・誕生日カードに、文字をなぞって書いたり、材料を切ったり貼ったりしている。【1段階A表現ア (イ)】	・誕生日カードに書きたいことを思いついている。【1段階A表現ア (ア)】	・進んで誕生日カードを作ろうとしている。
活 自 動 立	・要求があるときに、何らかの方法で伝えている。 【自立：6コミュニケーション・表出に関すること】		

実践事例様式 (2)

【B児】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活	・クッキングでの担当が分かり、役割を果たすための知識や技能を身につけている。【3段階カ：役割】	・クッキングで自分の役割が分かり、進んで参加している。【3段階カ：役割】	・自分のすることが分かり、友だちと協力してデザートを作っている。
国語	・教師の支援を受けながら、誕生日会で作るお菓子の作り方を図書館資料から探している。 ・図書館資料からお菓子の作り方の大切なところを見つけようとしている。 【情報の扱い方 3段階イ】	・誕生日をお祝いしようの単元をふりかえり、書きたいことを見つけている。【3段階（B書くことウ）】	・計画を立てたり、振り返りをしたりするときに、自分の思いや考えを友だちや教師に積極記に伝えている。
算数	・材料の量り方を理解している。【C測定3段階ア】	・クッキングに必要な材料を足したり減らしたりして、ちょうど分量になるように量っている。【C測定3段階ウ】	・進んで材料を量っている【C測定3段階】
道徳	【感謝】誕生日をお祝いしようの単元を通して、周りの人に感謝する気持ちをもつこと。		
活動 自立	・助けて欲しいときに、「助けてください。」「困っています。」と教師に助けを求めている。 【自立：6コミュニケーション・表出に関すること】		

【C児】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活	・誕生日カード作りやクッキングでの担当が分かり、役割を果たすための知識や技能を身につけている。【3段階カ：役割】	・誕生日カード作りやクッキングで自分の役割が分かり、進んで参加している。【3段階カ：役割】	・自分のすることが分かり、友だちと協力して誕生日カードやデザートを作っている。
国語	・教師の支援を受けながら、誕生日会で作るお菓子の作り方を図書館資料から探している。 ・図書館資料からお菓子の作り方の大切なところを見つけている。 【情報の扱い方 小学部3段階イ】	・誕生日をお祝いしようの単元をふりかえり、書きたいことを見つけている。【3段階（B書くことウ）】	・計画を立てたり、振り返りをしたりするときに、自分の思いや考えを友だちや教師に積極記に伝えている。
算数	・材料の量り方を理解している。【C測定3段階ア】	・クッキングに必要な材料を足したり減らしたりして、ちょうど分量になるように量っている。【C測定3段階ウ】	・進んで材料を量っている【C測定3段階】
道徳	【よりよい学校生活、集団生活の充実】誕生日会を通して、ひまわり学級をもっとよくしようと考えること。		
活動 自立	・気持ちが不安定になった時に、自分の気持ちを教師に告げ、気持ちを安定させている。 【自立：6コミュニケーション・表出に関すること】		

5. 単元の設定理由

(1) 児童について (略)

(2) 題材・教材について

この単元では、「誕生日カードを作ること」「誕生日会をするためにデザートを作ること」「誕生

実践事例様式 (2)

日会をすること」の3つを主な内容としている。「誕生日カードを作ること」はA児・C児の活動である。1学期は担任の誕生日にC児からの提案でカードを制作した。支援員に協力を求め、書く内容や誰に書いてもらうかを決め、子ども達だけで進めていくことができていた。今回もB児の気持ちになり、もらって嬉しい誕生日カードを作ることを目指していきたい。「誕生日会をするためにデザートを作ること」は、全員が関わり、3人とも楽しみにしている活動でもある。今年度、図書館資料の中から料理を選び、レシピを書く活動を2回行った。どちらも意欲的に取り組むことができた。この活動はデザートを決めるところから始まり、レシピを作り、実際にデザートを作るという工程に分かれている。今回はそれぞれが決めたレシピから、実際に作る物を決める活動を入れている。話し合いの中で自分の気持ちに折り合いをつけたり、相手の気持ちを考えたりする場面では、1人ひとりの気持ちに寄り添いながら話し合いを進めていきたいと考えている。最後にこの単元のまとめである「誕生日会をすること」を行う。3人ともが好きなクッキングの活動の中に材料を量ったり、数を数えたりする活動を取り入れてく。また、B児には誕生日会を開いてもらってありがたいという感謝の気持ちをもつこと、C児には誕生日会を通して、ひまわり学級をもっとよくしようと考えることを期待している。

(3) 授業づくりにあたって

①安心して授業に参加できる工夫

安心して授業に参加するためには、活動内容が分かり、見通しをもつことが大切である。本単元は1学期にも行っているため、単元の導入に1学期の写真を見せることで活動の流れをイメージできるようにする。単元の活動を目で見てわかるように掲示し、できたものにはシールを貼るなどして見通しをもたせたい。どの授業も活動が終わればお楽しみとして好きな遊びをする時間を確保している。また、1人で落ち着いて取り組みたいとき、1人でできないときは助けることを予め伝えておき、申し出があったときには対応できるようにしておく。そうすることで安心して学習に向かえるようにしていきたい。

②できたが見える教材の工夫（できる状況づくり）

①で示した単元全体の流れを表にして示したり、本時の流れをホワイトボードに記入したりする。活動が終わるとシールを貼ったり、ホワイトボードの文字を消したりすることでできたことが分かるようにしておく。単元のめあてを決めるときには、3人の言葉をつなぎ合わせて入れることで自分の意見が通ったと感じるようにしたい。今回選ばれなかったデザートについても、次回の誕生日会やお楽しみ会で作ることを提案し、次の活動に繋げていきたいと考えている。

③活動が広がり、深まるような場の設定

誕生日をお祝いしようの単元では、誕生日カード作り、レシピ作り、誕生日会とそれぞれの活動でたくさんの人との関わりがある。単元の最後に協力してくれた人について触れることで、ひまわり学級の活動はたくさんの人に支えられていることや人とのつながりを感じて欲しいと願っている。さらに、次の誕生日について紹介することで、さらなる意欲に繋げていきたいと考えている。

6. 単元指導計画（全8時間 本時5／8時間）

次	時	主な学習内容
1	1	○「お誕生日会」の計画を立てる
	2	・1学期を思い出しながら、誕生日会の内容や準備することについて考える。

実践事例様式 (2)

		・どんな誕生日会するか、めあてを決める。そこから、1人ひとりのめあてを考える。
2	3 4	○誕生日カードを作る ・誰に書いてもらうかを考える。 ・書いてもらう人に依頼をしに行く。 ・誕生日カードを作る。
3	5 本 時	○クッキングの計画を立てる ・図書資料の中から作りたいお菓子を定める。(A児) ・誕生日会で作りたいお菓子を定め、図書館資料を使って作り方を調べる。(B児、C児) ・図書館資料の中の大切なところに線を引く。
4	6 7 8	○お誕生日会をする ・クッキングをする。 ・お誕生日会をする。
5	9 10	○レシピを作る。 ・クッキングを思い出し、レシピを作る。 ・B児にレシピをプレゼントする。 ○振り返りをする

実践事例様式 (2)

7. 本時の学習

(1) 個別の目標

児童名	実態	めざす姿
A	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物の本に興味があり、読もうとするときもある。 ・ひらがなに興味があり、読みながらなぞることができる。 ・して欲しいことがあると、「ねえねえ」「やって」「お願い」と言うこともある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本に注目し、いろいろなお菓子の本に興味をもっている。 ・要求があるときに、何らかの方法で伝えている。(自立)
B	<ul style="list-style-type: none"> ・食べることに興味があり、よくお菓子の本を読んでいる。 ・自分の思いがあるものの、なかなか言い出せないこともある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の支援を受けながら、誕生日会で作るお菓子の作り方を図書館資料から探している。 ・図書館資料からお菓子の作り方の大切なところを見つけようとしている。 ・助けて欲しいときに、「助けてください。」「困っています。」と教師に助けを求めている。(自立)
C	<ul style="list-style-type: none"> ・目次を見て、調べることができるようになりつつある。 ・3人での学習の時には、自分の思いが通らないこともあり、気持ちが落ち着かなくなることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の支援を受けながら、誕生日会で作るお菓子の作り方を図書館資料から探している。 ・図書館資料からお菓子の作り方の大切なところを見つけている。 ・気持ちが不安定になった時に、自分の気持ちを教師に告げ、気持ちを安定させている。(自立)

(2) 本時の展開

学 習 活 動	教師の支援 (※) 支援員の支援 (○) 司書の支援 (□) と評価 (★)			準備物
	A	B	C	
1. あいさつ、今日の学習の予定を確認する。 ①図書館に移動する。(A児)・誕生日会で作るお菓子を話し合って決めた後、図書館に移動する。(B・C児) ②本で調べる。 ③大切なところを探す。 ④おたのしみ	※本字の学習の見通しが持てるように、予定を示す。 ○着席していなければ声をかける。 ※○日直のまねをして声を出しているときには、見守る。	※緊張して声が出せないときには、教師と一緒に言うか、児童に確認する。		予定ボード

実践事例様式 (2)

<p>2. 図書館に移動する。(A 児)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誕生日会で作るお菓子を話し合ってから決めた後、図書館に移動する。(B・C 児) 	<p>○図書館に行くことを、カードを使って示す。支援員と一緒に図書館に行く。</p>	<p>※2人で話し合いをしている時はできるだけ見守る。 ※図書館に入るときに言うことを確認し、1度練習する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・司書さんの顔写真のカード ・せりふカード ・お菓子作りの本
<p>3. 本で調べる。</p>	<p>※□児童が興味のある本をあらかじめ選書しておく。</p>	<p>□デザートの手書きの作り方が書いてある本の棚を伝える。 □調べる際には、目次、索引を見ると良いことを伝える。 ※迷って決められないときには、45分の授業の中で作ることができるかを確認する。</p>		
<p>4. 大切なところを探す。</p>	<p>○「コピーしてください。」の言い方を練習する。 ○学校司書のところへ行き、図書資料をコピーしてもらう。 ○図書資料を切るときに支援する。 ※○嫌がって取り組まないときには、声かけを行いながら待つ。自分から席に着いたときには褒める。 ※○興味が向かないときには、声かけをしながら待つ。 ※○自分から進んで学習に取り組んだときには褒める。</p>	<p>※タブレット端末で撮影し、大切なところに線が引けるようにする。 ※大切なところを考えることができるように、文章を読み上げる。</p>	<p>※1人でやりたいという申し出があったときには、その発言を認め、1人で行える場所を用意する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・はさみ ・タブレット
<p>※○集中して取り組んでいるときは見守る。</p>		<p>★本に注目し、いろいろなお菓子の本に興味をもっている。【行動観察】 ★要求があるときに、何らかの方法で伝えている。【行動観察】</p>	<p>★教師の支援を受けながら、誕生日会で作るお菓子の作り方を図書資料から探している。【行動観察・発言】 ★図書資料からお菓子の作り方の大切なところを見つけようとしている。【行動観察・発言】 ★助けて欲しいときに、「助けてください。」「困っています。」と教師に助</p>	<p>★教師の支援を受けながら、誕生日会で作るお菓子の作り方を図書資料から探している。【行動観察・発言】 ★図書資料からお菓子の作り方の大切なところを見つけている。【行動観察・発言】 ★気持ちが不安定になった時に、自分の気持ちを教師に告げ、気持ちを安定</p>

実践事例様式 (2)

		けを求めている。【行動観察】	させている。【行動観察】
5. お楽しみ	○ままごとを始めたら一緒に楽しむ。	※児童の興味のあるような絵本を一緒に探して読む。 ※図書館の中でできる活動を伝えることができたときには、できるだけ応じる。	
6. あいさつ	※○日直のまねをして声を出しているときには、見守る。	※緊張して声が出せないときには、教師と一緒に言うか、児童に確認する。	

8. 考察 (成果や課題など)

本単元は、今年度2度目の活動である。児童は「誕生日会でクッキングをするときに、作り方が分からないと困ってしまう。作り方を調べるために図書館に行こう。」と、目的意識と必要感をもって学校図書館を活用し、学習に取り組むことができた。また、2年生の児童は学校図書館に行くのが楽しい。学校図書館に行くのが好きな食べ物の本がある。本を手にとってみよう。と、学校図書館に行くことを楽しみに学習することができた。

本時では、誕生日を祝ってもらいたい児童の食べたいパフェの作り方を調べに学校図書館へ行った。事前に学校司書と情報交換を行い、児童が手に取りそうな本を選書した。また、目次や索引から調べることができるように打ち合わせを行った。これ以前の単元や、普段の生活の中で学校図書館を利用し、学校司書とも関わりをもっているため、自然と質問をすることができた。図書資料の中から大事なところを抜き出す活動では、「大事なところ」という言葉が抽象的であり、抜き出すことが難しかった。普段レシピ作りをしているため、そこに書くことを考えよう。という課題であったら、児童の考えることがより明確になっていたのではないかと考える。この単元後も、ひまわりお楽しみ会や、他の児童の誕生日会で図書資料を使って作り方を調べる活動を行っている。今後も図書館の資料を活用することで、分からないことが分かり、楽しい活動ができるということを感じる取り組みをしていきたい。

